

■ 銘柄:東京白金 ■

氏名 田栗 満

材料出尽くしから軟調地合い



■ コメント ■

本日の白金は、26円安の3694円で終わる。東京(15:30)の白金スポットレートは1151ドル。
朝6時に発表されたストレステストの影響から5月になり上昇していた白金も利食いに押され、9時からの取引では大きな動きもなく日計り的な乱高下で終わっている。ストレステストの結果は、19行中、10行が資本不足となったが優先株を普通株に転換する事で資本増強が可能となり、金融機関の透明性が市場に安心感を与えた形だ。その為、今晚発表される雇用統計も先週から発表されている経済指標の内容などから見て回復基調を表す数字が出ると見られ、景気回復傾向で貴金属価格が押し下げられる可能性が高くなった。
本日の東京市場の白金のチャートを見てもらうとストキャスティクスや相対力(RSI)が買いの状態を示しており、オシレーターから見れば買いのままと考える。ただ移動平均線の10日平均線と40日平均線の重なりが起る可能性が高まっており、一番注意する点ではないか。その為、来週早々に10日平均線までの調整安が入るか注意が必要である。(16:12記 田栗)

■ テクニカル ■

移動平均(10MA)	3610円
移動平均(40MA)	3604円
RSI(9日)	53.09%
%D	67.24
slow%D	42.4

商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。

詳細につきましては、PremiumClubメニュー左下に掲載されている「取引の重要事項」をご確認ください。